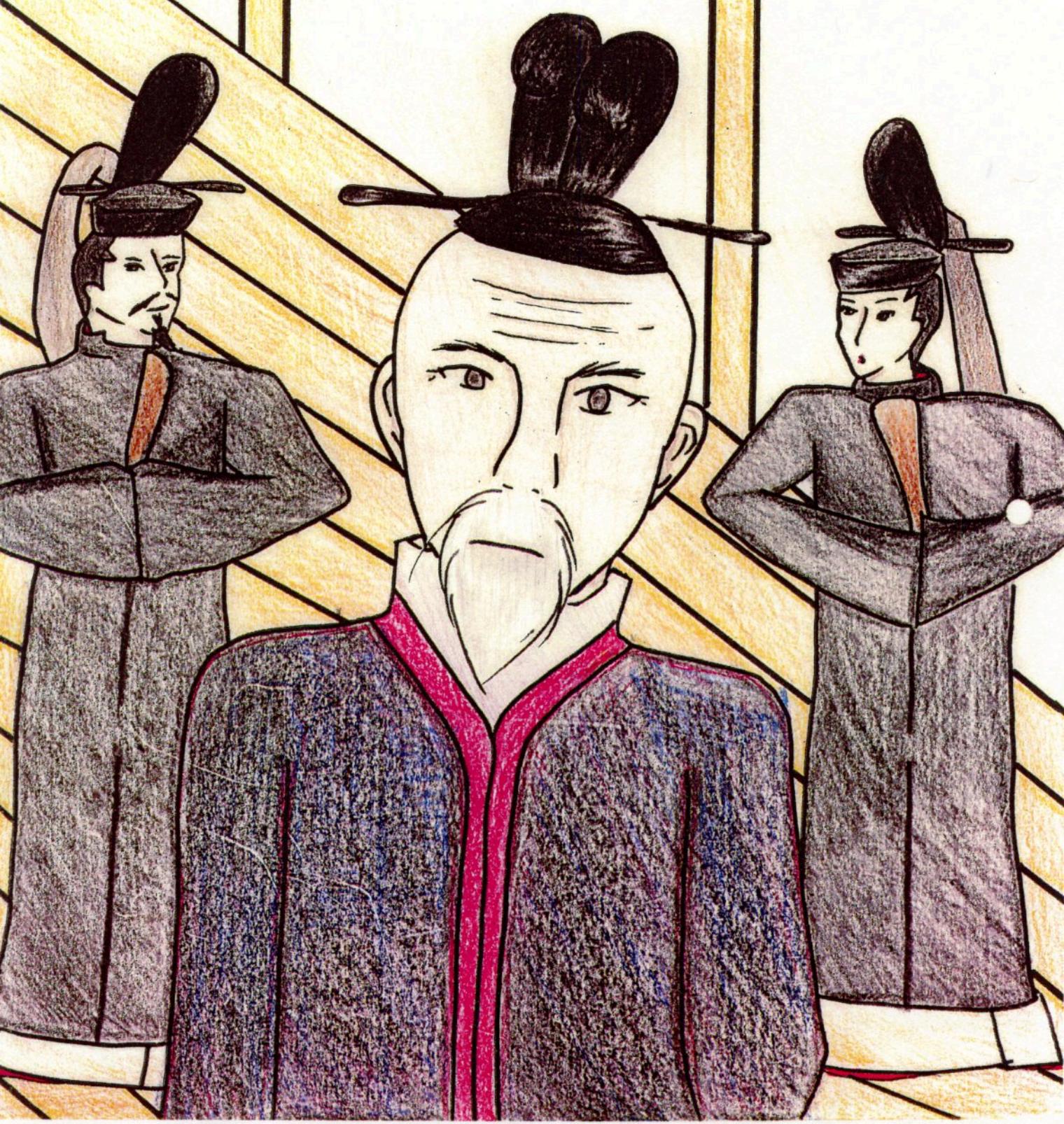


三浦 大介 義明



目次

1. 三浦氏の始まり

三浦氏は村岡為通が名乗った事から始まります。

2. 源頼朝の挙兵

源頼朝の挙兵に応じ子供達をはけんするも失敗します。

3. 衣笠合戦

和田氏と三浦氏の戦いです。

4. 三浦大介義明の討ち死に

三浦大介義明は頼朝に力を加勢すべく一族を安房へ逃がし、一人城で討ち死にをしました。

5. あとがき

三浦半島の地図



年

出来事

1063 村岡為通が源頼義から三浦郡を拝領衣笠城を築く。

この時、初めて「三浦」を名乗る

1159 平治の乱 義澄が源義朝に従い参戦

1180 8月17日 源頼朝、伊豆で挙兵

○8月23日 源頼朝、石橋山の戦いに敗れ安房(千葉)に敗走

○8月24日 小坪合戦

○8月26日 衣笠合戦

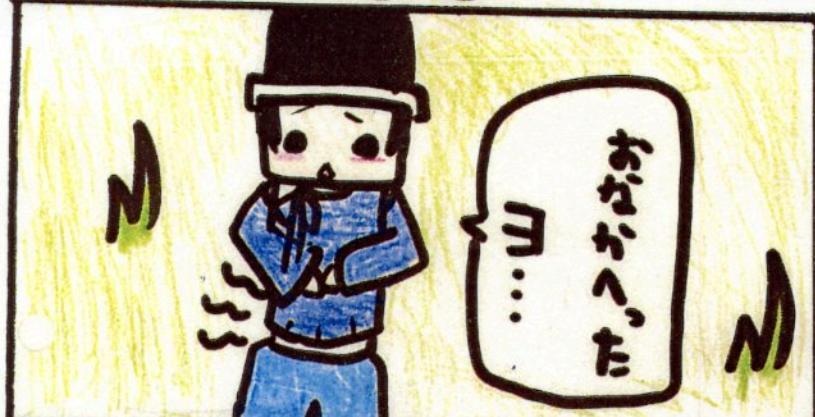
○8月27日 衣笠城、落城

三浦義明討死

-族は安房(千葉)に脱出

アチャチャマンカジ 劇場

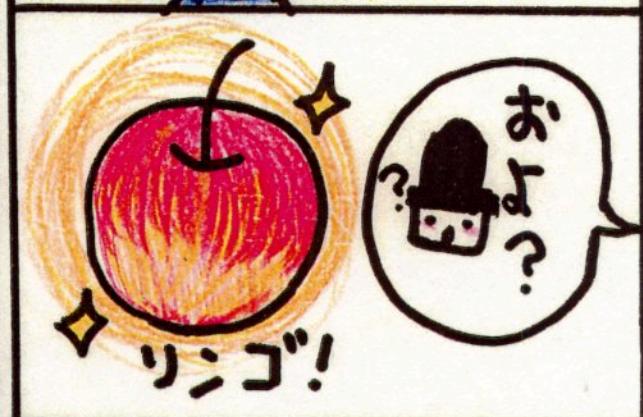
「ハラハッタ…」の巻②



「ハラハウタ」の巻 ①



A child's drawing of a caterpillar on a leaf. The caterpillar is black with a yellow head and blue body segments. It is crawling on a large, pinkish-red oval with yellow stripes, which is surrounded by wavy lines representing leaves.



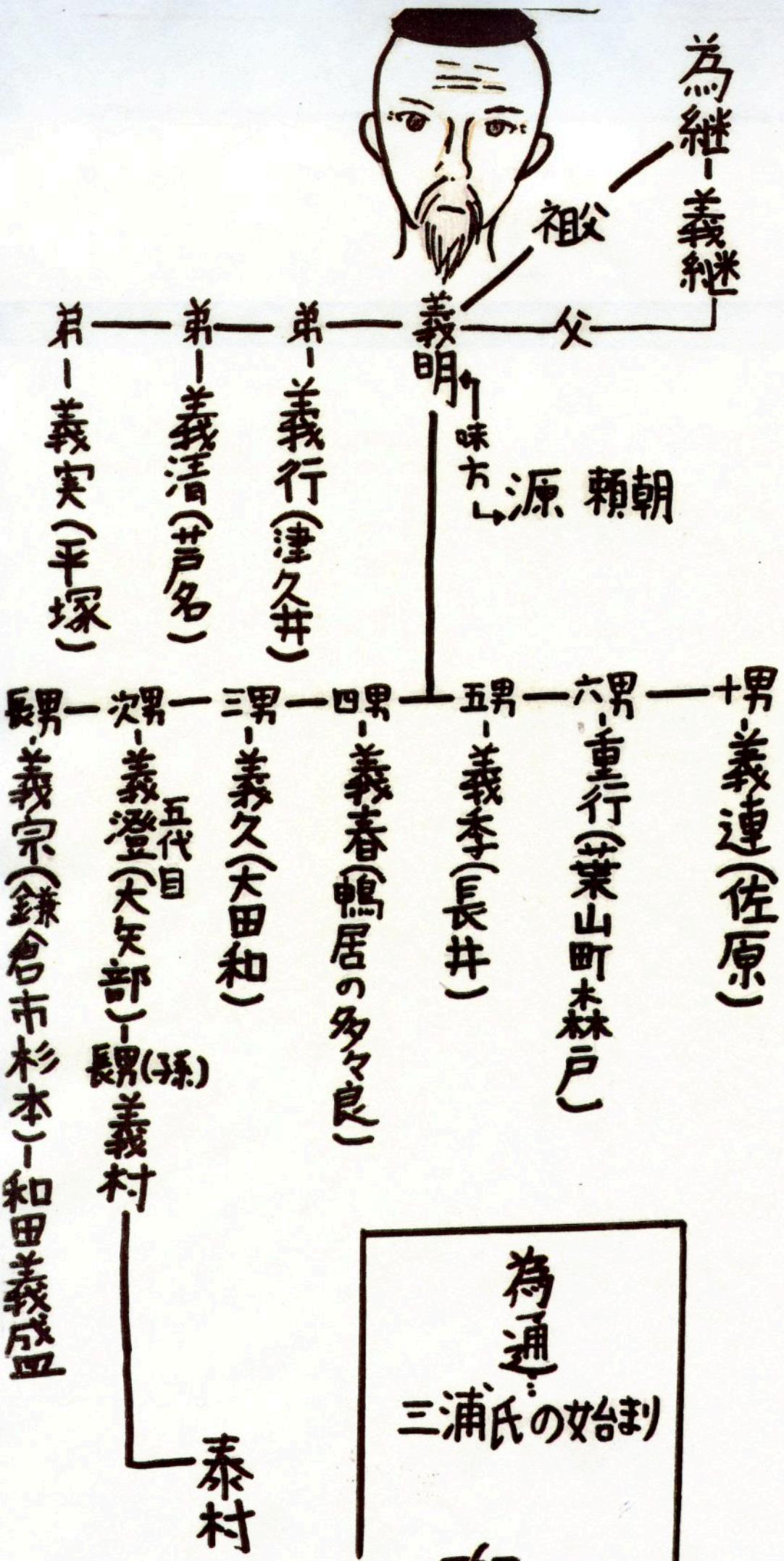
A child's drawing of a man in a top hat and blue coat holding a microphone. The text 'もうイヤイヤ!! 良べやえ!!' is written vertically next to him.



A colorful illustration of a man in a blue suit and white hat, looking sad with a tear in his eye. A speech bubble on the left says "アタタタタ" (Atataata). A speech bubble on the right shows a small character with a speech bubble saying "ドーニコイ!" (Donikoi!). The background is yellow with black "M" shapes.



家系図



1. 三浦氏の始まり

1. 三浦氏の始まり

三浦氏四代、三浦大介義明は

-092年に三浦義継の子として衣笠で生まれました。

三浦氏が始まりたのは

村岡為通が前九年の役と

言う戦いでがんば、たためほうびとして
三浦半島の土地をもらって村岡為通が自分
を三浦という名字を名乗、た事から始ま
りました。その時に衣笠城が築かれました。

為継を源義家に従い後、三年の役で活躍し、
もじに為継の子義継は息子の義明とともに一一九
五年に義朝を助けるなど活躍しました。三浦氏
は衣笠城を拠点にして、一族を三浦島の

各地において守りを
固めました。



2. 源 頼朝の挙兵

三浦氏は一一八〇年源頼朝の挙兵に応じて石橋山の合戦にかけましたが、源氏は最初の戦いで負けていたので間一合わないと思い衣笠城に引き返しました。そして安房に逃げました。頼朝はざんねんですが最初の石橋山の合戦に負ってしまいました。
(安房に逃げたのは頼朝です)

衣笠城に引き
戻したのが三浦氏です

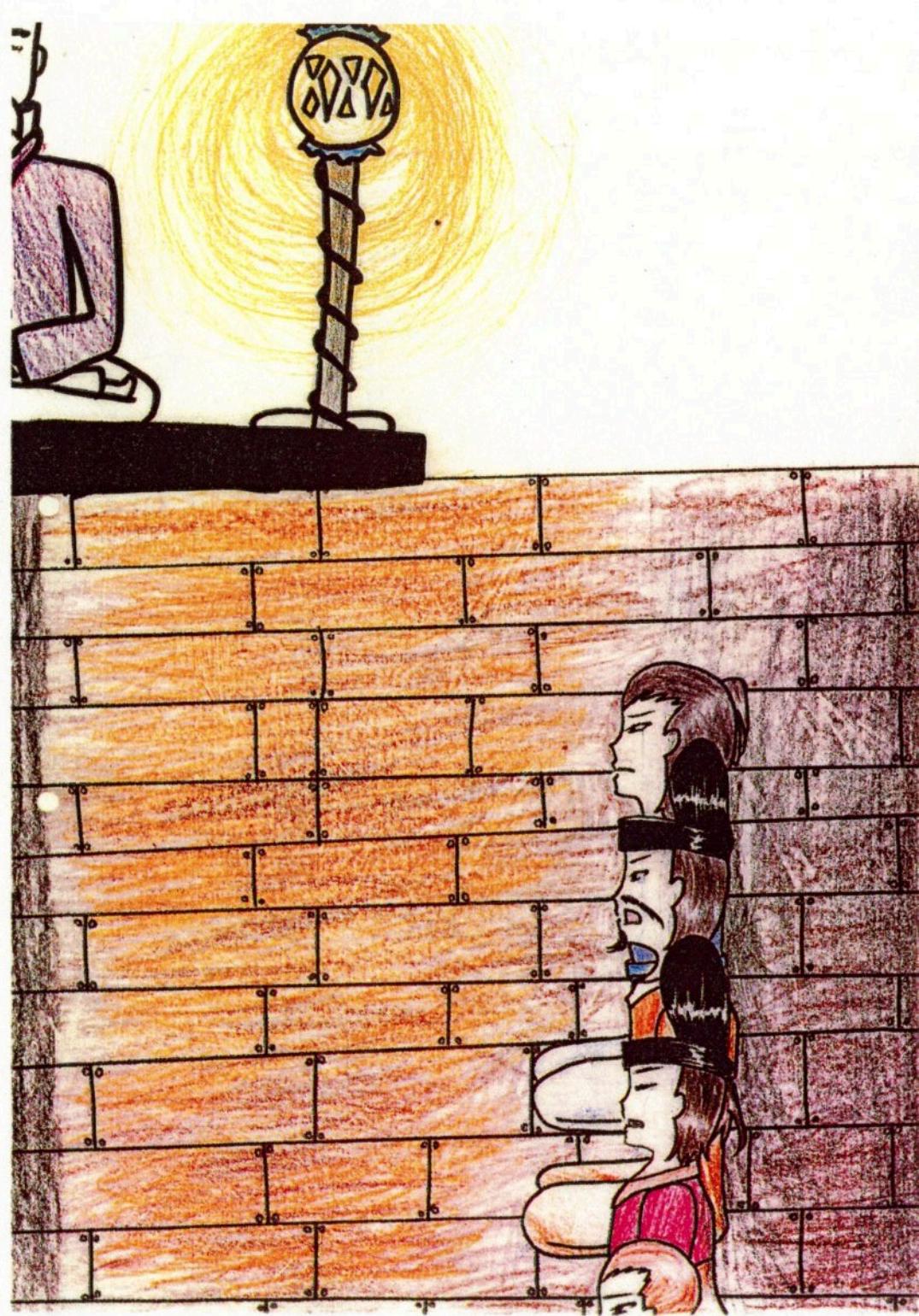
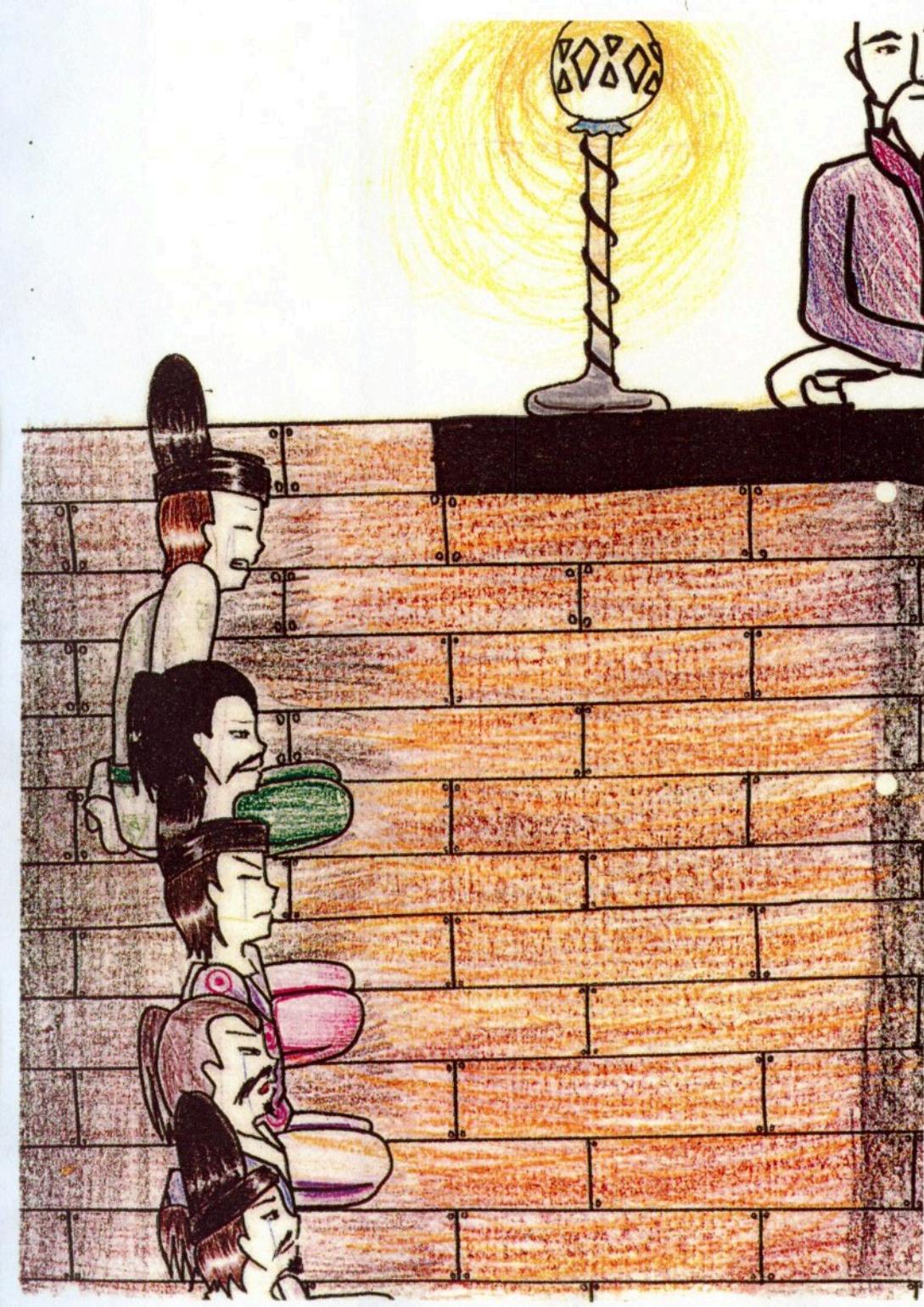


3. 衣笠合戦

八月二十六日、「衣笠合戦」の時がまほ、平氏の畠山・江戸・河越の軍約三千騎にせめられまほ。四五三騎で三浦氏側は守り、戦いはたが苦しい戦いになまほ。



義明は、この夜にこの戦いに勝つ事はないと
思って、三浦一族を集めて次のように言いました。



「今日の戦いは終わった。盼は老いているので歩くこともできぬ。それほど命は長くない。だから自分が一人坊城に残ろう。親からうけついだ衣笠城で死ぬのであれば本望だ。」

これを聞いた義澄たち一族の人々は、はらはらと涙を流しましたが、義明の命令にはがて、その日の夜中に久里浜の奴田城ににけて、次日二十七日、そこから船で安房へのがれました。

4.三浦大介義明の討ち死に
衣笠城に最後まで残った義明は、
一族全員が無事で出港したことを
聞き、二十七日の朝、食館に火を放ち、
そう絶命死をとげました。

その後、頼朝のいっこうは、
安房・上総で20万の大軍を
味方にして、武蔵を通って頼義以来
源氏のゆかりの地鎌倉にはり、
まず、富士川の戦いで平氏をおい
はらい、屋島や壇ノ浦の戦いで滅
ぼし、ついに建久3年(1192年)鎌倉に幕府を

ひらきました。

5.あとがき

この本を読んで三浦大介義明さん
のことがよくわかりましたか？よく知
てもらえたならうれしいです。

私はみんなに衣笠合戦の所
をたくさん読んでほしいです！苦しい戦い
の時に義明が決めた決断のシーンにとくに
注目してもらいたいです。

絵と文章を実際に思いうかべながら読んで
おもしろいでね!!
この本を販売してくれてありがとうございました。

また何度も本を読んで歴史の事を考えてみて
ください。

資料

スカラ4中世・近世編
・よこすか歴史散歩

三浦一方矢の歴史

横須賀ゆかりの
歴史上の人物
おおやべ 創立
30周年記念副読本
(横須賀立大矢部)

